

装置の電源の落とし方（停電、年末年始休暇など）

5100/5110/5800/5900 共通

ICP-OES の分光器は、一定の温度に温めることで安定しています。

そのため主電源は常時オンの状態ですが、停電、年末年始の休暇などで、止むを得ず装置の電源を止められる場合の手順をご説明いたします。

装置の停止方法

1. ICP Expert7（アプリケーションソフトウェア）が終了していることを確認し、電源スイッチをオフにします。電源スイッチの LED が点灯から約 20 秒間点滅し、消灯に変わります。

電源スイッチオンの状態



電源スイッチオフの状態（消灯）



2. 電源スイッチの LED が消灯後、電源ブレーカーをオフにします。電源スイッチは消灯後も 10 秒に 1 回、一瞬緑色に光りますがこれは正常です。

電源ブレーカーオンの状態



電源ブレーカーオフの状態



電源ブレーカーは 1 がオン、0 がオフの状態です。

※必要に応じて電源ケーブルをコンセントから外してください。

装置の停止方法

1. 電源ブレーカーをオンにします。

電源ブレーカーオフの状態



電源ブレーカーオンの状態



電源ブレーカーは0がオフ、1がオンの状態です。

2. ブレーカーをオンにすると、電源スイッチのランプが5回点滅します。それが消えてから電源スイッチをオンにします。

電源スイッチオフの状態



電源スイッチオンの状態



ステータスインジケータが白色に点灯し、その後、スカーレット色に4, 5回ゆっくりと点滅します。最後に、オレンジ色の点滅に切り替わります。

白色



スカーレット色



オレンジ色点滅



3. ICP Expert7 を起動し、[装置] をクリックして、ポリクロメーターの温度が $35\pm 2^{\circ}\text{C}$ になるのを待ちます。数時間かかります。

4. ポリクロメーターの温度が 35°Cに到達したら、Ar ガスパージを実施します。その後は通常の手順で、検出器較正後、装置較正（波長較正）を実行します。

全ての波長で合格することを確認します。

前回の結果:

元素	波長 (nm)	波長誤差 (nm)	結果
Al	167.019	0.002886	✓
N	174.213	0.003037	✓
As	188.98	-0.000364	✓
C	193.027	-0.001268	✓
As	193.696	-0.000267	✓
Se	196.026	0.000230	✓
Mo	202.032	0.001487	✓
Zn	202.548	-0.003418	✓
Mo	203.846	0.001898	✓
Mo	204.598	0.000809	✓
Cr	205.56	-0.002768	✓
Zn	213.857	-0.002428	✓
Cd	214.439	-0.004279	✓
Pb	220.353	-0.002171	✓